

オレンターノPRESS



5連勝

9.27 沼津 1-2 岐阜
決勝ゴール: 西谷 亮



クラブ連勝記録更新!



6連勝

10.4 岐阜 2-1 群馬
決勝ゴール: 文仁柱



INTERVIEW

Kiyotaka ISHIMARU

選手たちに前を向かせたことが
現在の結果に

監督 石丸 清隆



今 夏、シーズンの途中で私がFC岐阜の監督に就任した時。ほとんど情報が無いところからのスタートでした。不振に陥っているチームの何が問題なのかは来てみないとわからない状況で、なおかつ最初の試合に指揮を執ったJ3第20節ヴァンラーレ八戸戦までは着任してから3日しかなく、その時点では観察に終始することになりました。そこでは選手、スタッフにはもっとパワーを出してもらいたいと感じましたので、だから始めに取り組んだのは戦術ではなく、試合に臨む準備などの意識を変えてもらうことでした。

自 身の力を100パーセントに持っていくため、それまでの取り組みに疑問を持ったり、何か変えられるところがあるのであれば変えていこうと、そこを徹底しました。具体的には、たとえばボールを止めるという技術一つをとっても、それがちゃんと止まっているのかとかいうところまで掘り下げました。できているようでできていないところに疑問を持ってもらい、それができるようにしていくことで、意識を変えてもらおうと思ったのです。そのほか、パスをどちらに出すべきなのか、アクションをどのタイミングで仕掛けるべきかなど、チームとして目線を合わせていくところに取り組みました。

練 習では、それが短い時間で終わっても良いので、高い強度で全力を出すことを求めています。それは体力的にはしんどいことなのですが、自分に嘘をつかない人間になるべきだと僕は思っていて、そのために必要なことだと考えています。100パーセントで走らないといけないところが90パーセント、80パーセントでやっている人間は、基本的には上には行けないと思っている。それを監督の僕にやらされるのではなく、本人が必要に気付いて自分から実践できるかどうか重要です。選手にはそういう話をしています。

3 週間あった夏の中断期間をうまく使えたことはささいなことでした。ここまでお話しした基本に加えて少しずつ戦術の要素も入れていき、2部練習で暑中、真摯にサッカーに向き合う時間を長くつくったことで、プロとしてサッカーに取り組む姿勢が身につけていったと思います。第25節FC琉球戦からの連勝という形で夏の終わりと共に結果にあらわれてきたことによって、また選手が積極的に取り組もうという気持ちになっていることは、非常にポジティブなことだと捉えています。

矢 印を外に向けるのではなく、自分に向けて努力していこうということを選手には呼びかけました。まずは自分のやれることをしっかりやるのが、サッカー選手としての最低限これだけはやらなくてはいけないというパフォーマンスを発揮するための条件だと思います。チームの順位や出場機会の多さは、その日々の積み重ねの結果として表れるものです。だから、まずは習慣自体を変えていきましょう、と。いいものができて馴染んでも、またそれも僕は変えるべきだと思っているので、掴みどころがないと言われるかもしれませんが、そういう形でチームづくりを進めています。今成績が好転しているのは、監督である僕一人の力ではなく、僕の求めに応じてくれた選手のおかげだと思います。

シ ンプルだと思うんですよ。もうサッカーというのは点を獲るゲームだと思う。だからちょっとしたことで、ゴールを意識したトレーニングをしています。ボールを止めるにしても、基本的にシュートを撃てる場所に止めようと言っています。ボールを保持しているほうが有利なので、後ろを向くのではなく前を向いて進んできた結果が現在の成績であると思います。

取材日：2025年9月18日 ライター：後藤 勝

NEW PLAYERS INTRODUCTION

新加入選手 紹介

8月までに新たに7名の選手が加入しました。
ここからのシーズンをフレッシュな戦力が
さらに熱く力強く盛り上げてくれることでしょう。
彼らの挑戦と活躍を、ぜひスタジアムで応援してください！

平瀬 大

Dai HIRASE // 40
2025.5.28加入
生年月日:2001.3.28
身長/体重:182cm/83kg
出身地:長崎県

出場記録	出場試合数	得点
J1リーグ	1	0
J2リーグ	32	3
カップ戦	3	0
天皇杯	2	0

経歴
サガン鳥栖U-15 - サガン鳥栖U-18 -
早稲田大 - サガン鳥栖 -
レノファ山口FC - サガン鳥栖



福田 晃斗

Akito FUKUTA // 97
2025.7.23加入
生年月日:1992.5.1
身長/体重:170cm/65kg
出身地:三重県

出場記録	出場試合数	得点
J1リーグ	202	9
J2リーグ	40	1
カップ戦	20	1
天皇杯	17	1

経歴
内都利バースFC - 四日市JFC -
名古屋グランパスU-15 - 四日市中央高 -
鹿屋体育大 - サガン鳥栖 - 湘南ベルマーレ -
アルビレックス新潟 - サガン鳥栖



山谷 侑士

Yushi YAMAYA // 18
2025.8.7加入
生年月日:2000.6.11
身長/体重:177cm/73kg
出身地:神奈川県

出場記録	出場試合数	得点
J1リーグ	3	0
J2リーグ	14	1
J3リーグ	18	1
カップ戦	4	2
天皇杯	7	1

経歴
FC明浜 - 横浜F・マリノスJrユース追浜 -
横浜F・マリノスユース - 横浜F・マリノス -
水戸ホーリーホック - 鹿児島ユナイテッドFC - 横浜FC -
ゲイラン・インターナショナルFC - ABコペンハーゲン



ドウドウ

DUDU // 9
2025.3.26加入
生年月日:1990.4.21
身長/体重:180cm/78kg
出身地:ブラジル

出場記録	出場試合数	得点
J1リーグ	54	14
J2リーグ	192	52
J3リーグ	16	8
カップ戦	3	0
天皇杯	9	0

経歴
モジミン(ブラジル) - リネンセ(ブラジル) -
フラカンチーノ(ブラジル) - フィタレレンセFC(ブラジル) -
柏レイソル - フィゲイレンセFC(ブラジル) -
ヴァンフォーレ甲府 - アビスパ福岡 - ヴァンフォーレ甲府 -
FC町田ゼルビア - FC今治 - ジェフユナイテッド市原・千葉



川本 梨誉

Riyo KAWAMOTO // 29
2025.7.16加入
生年月日:2001.6.11
身長/体重:178cm/75kg
出身地:静岡県

出場記録	出場試合数	得点
J1リーグ	8	1
J2リーグ	119	11
カップ戦	5	0
天皇杯	6	0

経歴
中田サッカースポーツ少年団 -
清水エスバルスJrユース - 清水エスバルスユース -
清水エスバルス - ファジアーノ岡山 - サスパクサツ群馬 -
清水エスバルス - サスパ群馬 - ブラウブリッツ秋田



加藤 慎太郎

Shintaro KATO // 20
2025.8.2加入
生年月日:1999.10.18
身長/体重:191cm/86kg
出身地:東京都

出場記録	出場試合数	得点
J2リーグ	3	0
J3リーグ	42	4
カップ戦	2	0
天皇杯	3	0

経歴
フレンドリーSC - 三菱養和SC東鴨ジュニア -
三菱養和SC東鴨Jrユース - 三菱養和SCユース -
専修大 - ブラウブリッツ秋田 - ヴァンラーレ八戸



ブヴィクムシティ オコ

Bevic Moussiti-Oko // 25
2025.8.20加入
生年月日:1995.1.28
身長/体重:185cm
出身地:コンゴ共和国

代表歴	出場試合数
コンゴ共和国	4試合出場
コンゴ共和国U20	2試合出場

経歴
Dunkerque - Le Havre - Quevilly Rouen -
Le Mans - Ajaccio - Ankaragucu -
Concarneau - Boluspor - Martignes



※出場記録は加入時点での出場数

笑顔と交流がいっぱい! FC岐阜後援会 バーベキュー大会開催!

6月22日(日)、各務原市のオアシスパークBBQキャンパスにて、FC岐阜後援会主催の個人会員イベント「バーベキュー大会」が開催されました!

今回が初の試みとなるバーベキューイベントには、個人会員とご家族、そしてFC岐阜の選手・スタッフを含む総勢44名が参加。曇り空ながらも雨の心配はなく、絶好のBBQ日和となりました。

選手と一緒に焼いて、食べて、語って!



選手たちは、会員の皆さんとトングを手に、一緒に食材を焼いたり、普段とは違う“素顔”を見せてくれました。

「焼き加減どうですか?」「この野菜、めっちゃ美味しいですよ!」といった声が飛び交い、選手と参加者が肩を並べて食事を楽しむ光景は、まさに“FC岐阜ファミリー”そのもの。スタジアムでは見られない距離感での交流に、参加者の表情も自然とほころびました。

参加者の声

イベント終了後には、参加者からたくさんの嬉しい声が寄せられました。

- 「選手と一緒に食事できるなんて夢のようでした」
- 「子どもが選手と話せて大喜びでした。家族で参加できるのが嬉しいです」
- 「後援会に入っていて本当に良かったと思える時間でした」
- 「またこういうイベントをぜひ開催してほしい!」

つながる力、広がる応援

今回のバーベキュー大会は、クラブとファン・サポーターの距離をぐっと縮める、心温まる交流の場となりました。選手たちもリラックスした表情でファン・サポーターと語り合い、応援する側も「もっと応援したい!」という気持ちが高まった一日だったのではないのでしょうか。

FC岐阜後援会では、今後もこうした楽しいイベントを通じて、クラブと地域、そしてファン・サポーターの絆を深めていきます。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました!

次のイベントもどうぞお楽しみに!

“じゃんけんゲーム大会”で大盛り上がり!



食事の後は、「じゃんけんゲーム大会」を開催!選手とじゃんけんをして勝ち残った方には、選手からのプレゼントが手渡されるという豪華企画。子どもも大人も真剣勝負で挑み、勝ち残った方には大きな拍手が送られました。



「選手から直接プレゼントをもらえるなんて感激です!」「じゃんけんで勝ち残ったの初めてかも!」といった声があちこちから聞こえ、会場は笑いとお歓声に包まれました。



応援バスツアー-オロンター-ツアー-報告

第1弾

第8節 2025. 4.5 (土) 14:00 KICK OFF vs 奈良クラブ 試合会場: ロートフィールド奈良

試合結果》FC岐阜 1-1 奈良クラブ 参加人数》30名 旅行代金(大人・小人同額)》会員 7,000円

奈良の地で熱戦! FC岐阜、粘りのドロ-

春の陽気広がる4月5日、J3リーグ第8節「FC岐阜 vs 奈良クラブ」戦が奈良県のロートフィールド奈良で開催されました。岐阜からは約600名の熱心なサポーターが駆けつけ、スタンドを緑に染めて選手たちを後押ししました。

試合は前半30分、奈良クラブに先制を許す展開。しかしその7分後、FC岐阜の荒木大吾選手が冷静にゴールを決め、すぐさま同点に追いつきました。両チームともに堅い守備と素早い攻撃を繰り返し、後半はスコアが動かず、1-1の引き分けで試合終了となりました。

この試合では、FC岐阜の新加入選手・ドウドウ選手が途中出場ながらも存在感を發揮。また、大串昇平選手が岐阜での初アシストを記録するなど、個々の成長が見られる内容でした。

奈良クラブはJ3上位を争う強豪チーム。そんな相手に対して、FC岐阜は組織的な守備と粘り強いプレーで互角の戦いを演じました。アウェイの地で得た勝点1は貴重な一歩となるでしょう。

皆様の声援が、選手たちの力となりました。



FC岐阜ファミリー 庄司悦大氏と行く 試合観戦ツアー+奈良井宿観光

第2弾

第22節 2025. 7.26 (土) 18:00 KICK OFF vs 松本山雅FC 試合会場: サンプロ アルウィン

試合結果》FC岐阜 0-1 松本山雅FC 参加人数》28名 旅行代金(大人・小人同額)》会員 13,000円

松本での挑戦、岐阜の粘り強さ光る

7月26日(土)、J3リーグ第22節「FC岐阜 vs 松本山雅FC」戦が、長野県松本市のサンプロ アルウィンで開催されました。岐阜からは多くの後援会会員が応援に駆けつけ、スタジアムの一角を緑に染めました。

試合は前半22分、松本に先制を許す展開となりましたが、岐阜はその後も果敢に攻め続け、シュート数では対戦相手と同じ10本を記録。泉澤仁選手を中心に、サイドからの突破やセットプレーで何度もゴールに迫る場面がありました。

後半には、途中出場の選手たちが流れを変え、右サイドからのクロスやミドルシュートで攻撃を展開。守備陣も集中力を切らさず、追加点を許さずに試合を終えました。

結果は0-1と悔しい敗戦となりましたが、内容では互角以上の戦いを見せ、選手たちの粘り強さと連携の向上が感じられる一戦でした。

松本山雅FCに対しFC岐阜は堂々と立ち向かい、大きな手応えを得ることができました。

後援会の皆様の熱い応援が、選手たちの力となりました。



そして今回のアウェイツアーでは、FC岐阜の元選手で現在クラブスタッフとして活躍中の庄司悦大さんがバスに同乗!

車内では、庄司さんが軽快なトークで盛り上げる「ビンゴ大会」や、フリートークでは、選手時代の裏話や思わず笑ってしまうエピソードが飛び出すなど、移動時間も楽しいひととき。参加者からは「こんなに近くで話せるなんて感激!」「庄司さんの司会、最高!」といった声があふれました。

さらに今回は、後援会初の試みとして観光付きツアーを実施!

訪れたのは、長野県塩尻市にある歴史情緒あふれる宿場町「奈良井宿」。江戸時代の面影を残す街並みを歩きながら、参加者同士の交流も深まりました。

当日は高速道路の工事による渋滞の影響で滞在時間が約30分に短縮されるというハプニングも。それでも「短時間でも来てよかった!」「またゆっくり来たいね」と、参加者の皆さんは笑顔で散策を楽しんでいました。

庄司さんの軽妙なトークと、観光の楽しさが加わった今回のツアーは、試合観戦だけでなく“旅の思い出”としても心に残る一日となりました。



明治安田共催「FC岐阜ビジネス交流会」開催

9月17日(水)、明治安田共催による「FC岐阜ビジネス交流会」が開催され、FC岐阜パートナー企業・団体および後援会法人会員など156名が参加しました。

第1部では内閣官房参与・間宮氏、Jリーグチェアマン・野々村氏による講演会、第2部では監督・選手も交えた交流会が行われ、盛況のうちに終了しました。



第3弾

第29節 2025. 9.27 (土) 18:00 KICK OFF vs アスルクラロ沼津 試合会場: 愛鷹広域公園多目的競技場

試合結果》FC岐阜 2-1 アスルクラロ沼津 参加人数》43名 旅行代金(大人・小人同額)》会員 7,000円

沼津遠征でつかんだ価値ある勝利 — クラブ初の5連勝を後援会ツアーで見届ける

9月27日(土)、アスルクラロ沼津戦のアウェイ応援バスツアーを開催し、43名の皆様にご参加いただきました。事故渋滞の影響でスタジアム到着はキックオフ30分前。慌ただしい中での応援となりましたが、皆様の熱い声援が選手たちを後押ししました。

試合は後半に動きます。まずは後半8分、ブヴィク ムシティ オコ選手がこぼれ球に反応し、右足でゴール右下へ冷静に流し込む先制点。続いて後半27分、西谷亮選手がペナルティエリア外から放った鋭いシュートがゴール右下に突き刺さり、追加点を奪いました。得点直後に1点を返されるも、守備陣が集中を切らさず、2-1で勝利!

この結果、クラブ史上初の5連勝を達成。会員、ファン・サポーターの皆様とこの歴史的瞬間を共有できたことを心から嬉しく思います。

ご参加、誠にありがとうございました。



FC岐阜の未来を描く

— 背番号10から営業マンへ、新たな挑戦 —

営業スタッフ 兼 スクールコーチ 庄司 悦大氏



● 背番号10から営業マンへ

FC岐阜の10番を背負ってきた庄司悦大さんが、昨シーズンがぎりぎりで現役を引退した。その時点で35歳。決断の早さに誰もが驚かされたが、その後、いちスタッフとして勤務するとわかると、人々の驚きはさらに増した。現役の時から小松裕志社長に「引退する時はぜひFC岐阜に残ってほしい」と言われていたという庄司さん。選んだのは営業マンの道だった。

「漠然とこのクラブに残ることになるだろうとは考えていましたが、こういう風に営業とスクールコーチで残るということは、自分としても想像していなかった事態です。でも職場の方が優しく、わからないところがあればサポートしてくれて、仕事に馴染むことができました。温かく迎え入れていただいて非常にありがたいと思っていますけれども、それに甘えることなく自分のできることはやらないといけないと思い、精進しています」

● 規則正しく熱く働く日々

2月3日の初入社から8カ月が経ち、すっかりスタッフとしての仕事ぶりが板についてきた。定時は午前9時から午後6時。スクールがある木曜日と金曜日に関しては午後5時頃に着替えて現場に向かい、それが終わるのは午後9時頃。もちろん週末は試合日勤務もあって多忙だが、規則正しく熱い気持ちで働く日々を過ごしている。そしてそこに留まらず、FC岐阜をより大きく成長させたいと、激務に立ち向かっている。

● 岐阜の価値を高めて未来を築く

「スポーツの世界なのでトップチームにも試合の勝敗はつきものですが、クラブとしては地域に根ざすような活動もたくさんしていて、そういうことによってFC岐阜の価値を高めていったり、僕たちができることはたくさんあるし、やらないといけないことだと思うんですね。おかげさまで多くのパートナー企業のみなさんに協賛していただき、クラブの運営は順調ですが、現状に満足することなく、もう少し規模を大きくしていきたいとも考えています。アカデミーが練習するためのグラウンドも不足していますし、トップチームについても専用の練習場があるわけでもない。施設については僕らが左右できる場所ではないですけど、それを実現するため、発展していきたいという気運を高めるためにも、自分たちができることに全力を尽くすことを大事にしていきたいと思っています」

一例を挙げれば、9月20日のJ3第28節AC長野パルセイロ戦での動員もそうだった。「勝つ!! 一万人の声を」プロジェクトと題し、同行者一人分のチケット無料、「夢パス」を持つ子どもの保護者も入場無料という施策を実施。試合当日は雨にもかかわらず7,377人が集まり、チームは2-1の勝利を収めてその時点でのJリーグ加盟後最長の連勝記録となる4連勝を達成した。賑わいをつくり、その声によって勝つというクラブの理想像が垣間見えた瞬間だった。

● FC岐阜の一員としてクラブのためにできることを

「さいわいなことに、今回の『勝つ!! 一万人の声を』プロジェクトのメンバーに選ばれたり、色々な企画に自分の意見を発する機会を頂戴していますし、いろいろな企業の方がイベントをする時に、今まではこうやっていただけてももっとこうしたほうがいいんじゃないですかと、改善の提案をさせていただくこともあります。やはりクラブのためにできることを考えて動くということをしないと、ぼくがここにいる意味も薄れますし、それに選手の時より、人に見られているという認識はあるので、よりFC岐阜の一員として外での振る舞いに気をつけよう意識しているところもあります。クラブのエンブレムが入ったシャツを着て街に出れば、世間は『FC岐阜の人だ』と思って見ますから。これからもクラブの価値を損なうこと無く、より高めていくために、営業のスタッフとして頑張ろうと思っています」

「今後はサッカー専用スタジアムなど、より良い環境づくりをめざしていきたい」と、庄司さん。岐阜県とFC岐阜を成長させていくため、今日も協賛企業を増やし、みんなで手を携えて上をめざす気運を高めようと活発に歩き回っている。



取材日：2025年9月18日 ライター：後藤 勝

● グリーンス活動紹介

地域とチームをつなぐ架け橋

— FC岐阜グリーンの想い

太田 学さん



FC岐阜のホームゲームを支えるボランティア「グリーンズ」。試合前日の広告物の袋詰めから、当日の配布、エコステーション対応、インフォメーション補助、夢パスやファンクラブの受付、スタジアム清掃、来場者のお見送りまで、幅広い業務を担っています。

「来場者の方に気持ちよく楽しんでいただけるよう、心を込めてサポートしています」と語る太田 学さん。入場ゲートやインフォメーションでの活動が多く、観客との交流を大切にしています。長良川競技場で開催された名古屋グランパス（J1リーグ）の試合でボランティアに参加し、他クラブのボランティア対応を学んだ経験や、来場者からのねぎらいの言葉、旧友との再会など、活動を通じて得た喜びは数知れないとのこと。

参加のきっかけは「もっとボランティアの活動範囲を広げたい」という思いから。FC岐阜のオフィシャルサイトでグリーンズの存在を知り、応募したという。メンバー同士は和気あいあいとした雰囲気、互いに支え合いながら活動しています。



「ボランティアを通じてFC岐阜をより深く知ることができ、地域活性化にも貢献できる。そんな一端を担えることが大きな魅力です!」と語るその姿勢には、郷土愛とFC岐阜への熱い想いが込められています。

今後は運営に近い活動にも挑戦してみたいと語る太田さん。長良川競技場を毎回満員にできるようなチームづくりを支えることが夢だといいます。「まずは試合前の時間だけでも構いません。一度参加してみてください。新しいFC岐阜の魅力にきっと出会えるはずですよ!」と、これから参加を考える方へ温かいメッセージを送ってくれました。

地域貢献



「ぎふを元気に!!」
地域に愛される
クラブを目指して。

FC岐阜のホームタウン活動

FC岐阜では、県内全域を元気にすることを目指し、積極的にホームタウン活動を展開しています。サッカーをはじめとするスポーツの振興・普及はもちろん、地域の皆さまとの交流、ホームゲームを活用した市町村のPR、さらには社会課題や環境問題の解決に向けた取り組みなど、さまざまな活動に力を入れています。「ぎふ」の皆さまと思いをひとつにして、地域に密着した活動を行い、魅力あふれる街づくり活動を進めていきます。

● フードドライブ活動



株式会社パローホールディングスと岐阜県社会福祉協議会と共にホームゲーム会場にてフードドライブを実施しています。寄付いただいた食品を「子どもの居場所応援センター」などへお届けし、食品ロスの削減に貢献していきます。

● FC岐阜グリーンカーテンプロジェクト



グリーンカーテンとは、ヘチマなどのつる性植物をネットに這わせ、日差しを遮ることで室温の上昇を抑える、自然由来の省エネ対策です。子どもたち一人ひとりが環境問題を自分ごととして捉え、身近なところからできることに取り組むきっかけとなるよう、このプロジェクトを実施しています。

● Be Supporters!



「支えられる人から、支える人へ」の実現を目指す「Be Supporters!」の活動に取り組んでいます。日頃は支えられる場面の多い方がサポーター＝「支える人」になることでココロもカラダも動かしてワクワクする、参加型のプロジェクトです。

● サッカー教室



幼児・小学生の子供向けのサッカー教室、親子で参加できる教室、女性や障がい者などを対象とした教室など、県内各地で様々なサッカー教室を開催しています。



FC岐阜 サッカースクールの取り組み



サッカー技術も！
人間力も！

FC岐阜サッカースクールは、県内10会場で幼児からシニアまで500名以上が楽しく活動しています。サッカー面でも「止める・蹴る・運ぶ」といった基本技術を重視し、自ら考えて判断できる選手を育成しています。サッカーの技術向上の他にも「子どもたちに夢を!!」のクラブ理念の下、挑戦と失敗を繰り返すことで成長を実感し、一生懸命がんばることや仲間を思いやる大切さを学ぶ機会を提供しています。さらに挨拶や感謝の心、ルールを守る姿勢も大切に、地域に元気と笑顔を広げることを目指しています。

コーチには庄司悦大コーチ、益山司コーチ、橋本和コーチといった元FC岐阜選手が活躍しています!!

FC岐阜
サッカースクールの
詳しい情報はこちら→



スクールコーチからメッセージ



益山 司コーチ

サッカー選手への第一歩！
FC岐阜の選手を目指して、
僕たちとサッカーを始めませんか？



橋本 和コーチ

笑顔あふれる練習を大切にしています！
みんなの可能性を最大限に伸ばしましょう！

後援会からのお知らせ

FC GIFU SUPPORT ASSOCIATION INFORMATION

各試合において

後援会贈呈式

が行われました

皆さまからのご支援、
誠にありがとうございます。

6.1 明治安田生命保険相互会社 岐阜支社有志一同様

6月1日(日)高知ユナイテッドSC戦の試合前、ピッチ上にて「明治安田生命保険相互会社 岐阜支社有志一同様」からのご支援に対する贈呈式が行われました。

岐阜支社長・加藤健一様より寄贈パネルが手渡され、クラブと地域の健康・活力を願う想いが込められた支援に、後援会会長・櫻井宏より感謝の言葉が贈られました。

地域社会への貢献とスポーツ振興への熱意が感じられる、心温まる式典となりました。



8.24 太平洋工業株式会社 役員・社員 有志一同様

8月24日(日)福島ユナイテッドFC戦の試合前、ピッチ上にて「太平洋工業株式会社 役員・社員 有志一同様」からのご支援に感謝を込めた贈呈式が行われました。

代表取締役会長・小川信也様より寄贈パネルが手渡され、クラブの未来を支える力強い支援に、後援会会長・櫻井宏が深い感謝の意を表しました。

企業と地域が一体となってFC岐阜を支える姿勢に、スタジアム全体が温かい拍手で包まれました。



8.30 岐阜車体グループ FC岐阜サポーター会様

8月30日(土)FC琉球戦の試合前、ピッチ上にて「岐阜車体グループ FC岐阜サポーター会様」からのご支援に対する贈呈式が行われました。

代表取締役社長・足立利光様より寄贈パネルが手渡され、クラブへの熱い想いと地域への愛情が込められた支援に、後援会副会長・川島政樹が感謝の意を表しました。

企業とサポーターが一体となってクラブを支える姿は、まさに「俺たちの岐阜」の象徴です。



9.20 OKB 大垣共立銀行 サポーターズ一同様

9月20日(土)AC長野パルセイロ戦の試合前、「OKB大垣共立銀行 サポーターズ一同様」より、活動への力強いご支援を賜り、スタジアムにて贈呈式を執り行いました。

頭取・林敬治様より後援会副会長・川島政樹へ寄贈パネルが手渡され、クラブと地域を結ぶ熱い想いがスタジアムに広がる感動の瞬間となりました。

後援会一同、心より感謝申し上げますとともに、今後も地域とクラブをつなぐ架け橋として活動を続けてまいります。



■後援会への入会・その他お問い合わせ先

FC岐阜後援会事務局(業務委託:株岐阜文芸社)

〒501-2517 岐阜市三輪ふりんとびあ13番地の1

TEL 080-8089-1990 FAX 058-229-6131 e-mail kouenkai@fc-gifu.com

オレンターノPRESS Vol.33

発行:FC岐阜後援会 デザイン・印刷:株岐阜文芸社

写真:©Kaz Photography/FC GIFU ©FC GIFU